

研 究 室 紀 要

第 51 号

東京大学大学院教育学研究科 教育学研究室

2025年 7 月

目 次

《特別寄稿》

地球時代：これからの教育をどう創るか

—平和と子どもはひとつのこと—提案 堀尾輝久 みやぎ教育文化研究センター

設立30周年記念シンポジウム（2024・6・8 フォレスト仙台）……………堀尾 輝久（1）

学習を自然化することの限界

—フォードナー、マクダウェル、ブックの視点から……………今井 康雄（7）

修道院と東京大学との境界に生きて

—第5話 駒場、疾風怒涛の大地—……………吉澤 昇（17）

《研究論文》

市民教育としての学生弁論

—ディベートの弊害を補うものとして—……………生方 遥斗（29）

人間の認識論的誤謬について

—初期バスターを手がかりに—……………沖田 千里（41）

スポーツにおける「勝利至上主義」と身体観

—「制御可能性の身体」から「制御不可能性の身体」の方へ—……………佐藤 陽（51）

就学運動を通じた教育実践における障害児の意志や要求の位置づけ

—小学校教員・篠崎恵昭の教育実践の記録に着目して—……………末岡 尚文（63）

未来のカタストロフを示す教育者の方法

—社会科の一課題からアンダースとドゥルーズの哲学へ—……………瑞慶覧 洸太（75）

居場所に「居る」ことの現象学的考察

—ある中高生の居場所における経験に根ざして—……………田口 楓真（87）

神的暴力としての平和教育の構想

—ベンヤミン、バトラー、アガンベンの生と主権をめぐる議論に着目して— 山下 真彌（99）

《研究ノート》

2010年代における青少年向け居場所施設像

—文京区青少年プラザの設立過程の議論に着目して—……………青木 門斗（111）

日本の学校における平和教育の現状

—広島市と横浜市の中学校における原爆の記憶の継承に関する比較研究—

……………オルネール・なぎさ（121）

《書評》

Honderich, Ted. *A Theory of Determinism*. 1988. ……………島本 篤（135）

《エッセイ》

現行の医療に関する覚え書き 序章における序……………島本 篤（139）

《活動動向》

不登校経験のある高校生への授業実践報告……………青木 門斗（143）

(基礎) 教育学コース文芸部、文芸雑誌『恐るべき大人たち』2024年度活動報告
—資本主義との綱引きの中で— 島本 篤・増田 涼太 (147)

《ゼミ動向》 (151)

[大学院] 総合演習／小玉ゼミ／小国ゼミ／山名ゼミ／隠岐ゼミ／片山ゼミ／
大塚ゼミ

[学部] 教育の公共性を考える／近現代日本教育史演習／教育と人間形成の哲学／
科学・技術の思想史／価値と教育Ⅴ／教育臨床問題について考える

《学位論文一覧》 (175)

《補遺》

創刊50周年に当たり、記録の補遺 吉澤 昇 (177)

創刊にあたって [再録] 大田 堯 (178)

《訂正》

修士論文一覧 (1999～2022年度)・『研究室紀要』総目次 (第30号～第49号)
..... (179)

* 研究論文は査読付き。